

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第1区分
 【発行日】平成19年1月18日(2007.1.18)

【公開番号】特開2005-152819(P2005-152819A)

【公開日】平成17年6月16日(2005.6.16)

【年通号数】公開・登録公報2005-023

【出願番号】特願2003-396750(P2003-396750)

【国際特許分類】

B 04 B 5/02 (2006.01)

【F I】

B 04 B 5/02 Z

【手続補正書】

【提出日】平成18年11月22日(2006.11.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

駆動装置によって回転される駆動軸と、該回転軸に装着されるロータボディと、該ロータボディに形成されたバケット収納部と該バケット収納部に配置された円柱状のピン部と、該ピン部とピン係合部を介してし揺動可能に配される複数のバケットを有するスイングロータを備えた遠心機において、

前記ピン部の円周面側の前記ピン係合部に係合部環状溝を設け、前記ピン部端面と、ピン係合部端面との隙間よりも、係合部環状溝の幅の方が大きくなるよう構成されていることを特徴とするスイングロータを備えた遠心機。

【請求項2】

前記係合部環状溝に環状溝アール部を設け、該環状溝アール部の曲率半径を前記係合部環状溝の1/2に設けることを特徴とする請求項1記載の遠心機。

【請求項3】

駆動装置によって回転される駆動軸と、該回転軸に装着されるロータボディと、該ロータボディに形成されたバケット収納部と該バケット収納部に配置された円柱状のピン部と、該ピン部とピン係合部を介してし揺動可能に配される複数のバケットを備えたスイングロータにおいて、

前記ピン部の円周面側の前記ピン係合部に係合部環状溝を設け、前記ピン部端面と、ピン係合部端面との隙間よりも、係合部環状溝の幅の方が大きくなるよう構成されていることを特徴とするスイングロータ。

【請求項4】

前記係合部環状溝に環状溝アール部を設け、該環状溝アール部の曲率半径を前記係合部環状溝の1/2に設けることを特徴とする請求項1記載のスイングロータ。